

feel the MMS

VOL.13 令和5年6月30日発行 発行・編集/株式会社MMSホールディングス 制作・編集協力/株式会社マガジンス

発行所/株式会社MMSホールディングス「feel the MMS」編集室 〒600-8351 京都府京都市下京区高辻通堀川西入ル富永町685番地 MMS-I TEL.075-822-3395(代)

●特集

業務の垣根を超えて、新しいMMSは「エリア長」が牽引。

●Report

2023年度『MMSグループ合同責任者会議』

エリア長 ニュージーリーダー 最前線で奮闘する

Yoshida



北海道・東北エリア
tel.011-213-1427

step up 30

Tsukada



関東エリア
tel.03-6427-4497

全国を6つのエリアに分け、
地域性に応じた戦略を進めるMMS。
その重責を担うのは、
確固たる権限を委譲された精鋭、
6名のエリア長たちだ。

Nakabayashi



東海エリア
tel.052-433-3443

Uekido



京滋エリア
tel.075-812-7277

Shiroma



九州・中国エリア
tel.092-739-8410

Hayakawa



阪神エリア
tel.06-6292-0022

特集

目指せ! Step Up 30!

大村取締役 × 上城戸エリア長 × 早川エリア長

座談会

業務の垣根を超えて、新しいMMSは「エリア長」が牽引。

2023年度、ついに30期へと突入したMMSは、組織を一部改変。

これまで別々だった受注管理と人材手配の部門を各エリアごとの“ワンチーム体制”に一新しました。

この制度改革に携わった大村取締役と、主力となる関西の2エリアを率いる二人のエリア長の、熱いトークバトルをお届けします。



進行 取締役 営業・施工管理部 管掌

大村 忠 (おおむら ただし)

二人とも現場経験が豊富でとても真面目です(笑) 志も高いので、これからの飛躍に大いに期待しています!!

京滋エリア エリア長

上城戸 雅之 (うえきど まさゆき)

前・京滋ブロック長
今は戸惑うことばかりですが、責任者として日々勉強の毎日です。

阪神エリア エリア長

早川 安彦 (はやかわ やすひこ)

前・兵庫地区ブロック長 尼崎SC長
最初は「まさか自分が…」と驚きましたが、全力を尽くし頑張っています。

ワンストップでお客様からのご依頼にお応えできる体制へ。

大村 いよいよMMSの新体制がスタートしました。二人ともエリア長に就任してまだ日が浅いですが、今はどんな状態ですか？

上城戸 私はこれまで長くスタッフの管理には関わってききましたが、受注業務に携わるのは初めてで、まだ業務内容を把握しきれていない部分もあります。早急に理解したいですね。

早川 数字の管理もそうなんですが、私はそもそも現場以外でお客様にご挨拶に伺うといった営業活動を経験したことがなかったので、そこから慣れていこうとしているところです。



大村 他のエリア長からも、「今まで関わってこなかった業務で新しい知識を得ることができると、仕事へのモチベーションが上がった」という声もありました。

早川 確かに。まずはとにかく、自分が受注の仕事把握しなければ!という思いが強いです。

大村 受注業務を経験している優秀な部下がいますので、任せられることはお願いして、しっかり確認するのがエリア長の重要な仕事かと思います。必要なときに理解を深めようと割り切る部分がないと、仕事量が多くなりすぎるから。

ところで、体制が変わったことで、改善された点はありますか？

上城戸 これまでは受注センターとSC(サポートセンター)が切り離されていて、それぞれが別々に業績アップを目指してきたことで連携がスムーズにいかないときもありました。それが、両部門の垣根が取り払われたことで、情報共有がしやすくなりましたね。これまでのやりにくさが解消されたと思います。

早川 そうですね。実際に私も直接お客様からのご依頼をお聞きして、それをスタッフに伝えていきます。そんなことは今までにはなかったもので、大きな変化ですね。



大村 当時は受注センターからSCに情報が届くまで時間がかかっていましたが、少しずつ改善されているように感じます。今後もお客様のニーズや現場スタッフからの要望には、より迅速に対応できるようにしていきたいですね。

上城戸 はい、レスポンスの良さは大前提ですから。お客様から「この日にこれだけの物量をお願いします」とご依頼いただくとすぐに返事ができますし、ご要望の日程が難しい場合は「この日であれば手配できます」といった具体的な提案もできるようになりました。



step up 30

MMSのマネジメント戦略

新体制をより盤石にし、あらゆる困難に打ち勝てる組織へ。

取締役 営業・施工管理部 管掌 大村 忠



MMSではこれまで、「受注センター」という受注窓口と、現場管理や手配を行う「SC(サポートセンター)」を配置した組織体制を15年間続けてきました。この体制で実績を上げてきた一方で、業務を切り分けているがゆえの他責的な考えも双方に生じていたように感じていました。それを打破すべく、このたび組織を再編し、社員一人ひとりが広い視野を持ちながら、幅広い業務に責任感を持って携われるよう改革しました。今後、物流の2024年問題を控え、働き方改革の見直しやインボイス制度、週休二日制による稼働日の減少など、建設業界全体の人材不足や人材育成に大きな影響が予測される中、MMSではあらゆる困難をもビジネスチャンスに変えて対応していきたいと考えます。そして、安心して働ける職場環境づくりを継続して行うことで優秀な人材を確保し、会社の企業理念のもと未来志向で物事を考え、より多くのお客様のご依頼・ご要望にお応えできるよう精進して参ります。

エリアで掲げる目標を達成すべく、チームの基盤づくりに邁進。

大村 最近の現場の状況について、何か感じることはありますか？

上城戸 一昔前に比べて、安全に対してより厳しくなってきていますね。我々はスタッフを教育して送り出す立場ですが、みんなに安全意識を高めてもらうには一方的にルールを押し付けるのではなく、「安全面に関して100%のサポートをする」というこちらの姿勢を伝えることが大切だと思っています。

早川 それは私もよくわかります。今は自分があまり現場に立ち会っていないので、ミーティングや対話を重ねて安全意識や作業品質を高めていきたいです。現状の仕事をこなしつつも現場巡回を増やし、現場で

働いてくれているスタッフに声を掛け、皆の安全を守りたいと考えています。

大村 職場の安全性や品質を高める仕事は凄く重要ですね。社員一丸となって向上させなければならないと感じます。それぞれのエリアにおける当面の課題は？

上城戸 まずは自分が業務の内容をしっかりと理解したうえで、スタッフとのコミュニケーションを図り、各自の得意と不得意を見きわめて、業務配分を行っていきこうと思っています。そして、地域密着で新規顧客獲得に挑みながら、コストの無駄を削っていくことで、京滋エリアの実績をより上げていきたいです。

大村 頼もしいね。阪神エリアはどうですか？

早川 課題としてはやはり、エリアで掲げる目標数字をクリアすることです。原価などもわかってきたので、抑えられるところは抑え、できるだけ売り上げを残せるようにする。そして「みんなで一緒に同じ目標を追いかけていこう」という思いを全員に浸透させていきたいです。

大村 ありがとうございます。それぞれの熱意が伝わってきました。共に頑張っていきましょう！



＼ MMSのニューリーダー ／

エリア長が語る。

各エリアが目指すMMS成長戦略—方針と施策！

▶▶▶ 2ページに渡りご紹介します！

京滋エリア

チームとして助け合いながら、未知の業務に挑みます。



京滋エリアでは30期の運営テーマとして、「エリア一丸！新しいことにチャレンジする30期！」と掲げました。これまで異なる業務に携わってきた社員同士が、互いにやり方を提案し合い、協力し合いながら実践していけるチームを目指していきます。

◆京滋エリア長/上城戸 雅之(37歳)
20年前に契約社員として入社して2年間勤務した後、別の業界を経験。再びMMSに戻って10年間現場で働き、草津SC長、京滋ブロック長を歴任。



SCのメンバーと笑顔で一枚。



キリッと真剣な表情で。

阪神エリア

全員が同じ方向に向かって進む一体感を大切にしたい。



阪神エリアが掲げる運営テーマは、「三位一体・着実にSMARTな運営」です。そのためには、受注獲得、原価管理、出面管理、品質・安全管理などにおいて、全員が一体となって情報共有しながら、同じ方向に向かって進んでいきたいと考えています。

◆阪神エリア長/早川 安彦(35歳)
18年前に契約社員として入社し、現場スタッフとして約8年間働いた後、社員に。尼崎SCの起ち上げ時に責任者となり、現在もエリア長と兼任する。



気心知れたメンバーと賑やかに。



PC作業も抜きかりなく。

特集

目指せ! Step Up 30!

step up 30

\ MMSのニューリーダー /

エリア長が語る。

各エリアが目指すMMS成長戦略—方針と施策!

新体制になり、エリアごとの団結力がより強固になったMMS。

各エリアの30期の目標と達成への展望とは—?

前ページの京滋エリア・阪神エリアに続き、

関東、東海、北海道・東北、九州・中国の各エリア長の登場です。

関東エリア

同業他社に負けない! 「MMS」が一番輝く関東エリアに。



関東エリアは「安心(スタッフ)と信頼(お客様)を基礎に、エリアとエリアをつなぐ心の絆で夢にあふれる未来に貢献!」を運営テーマに掲げました。スタッフの成長とお客様のニーズへの対応力によって、同業他社が多数ひしめく関東エリアで「MMS」の名を轟かせます!

◆**関東エリア長/塚田 裕明**(38歳)
20年前に契約社員として入社。5年間の勤務の後、別の業界を経験。再びMMSへ戻り、MMSの関東出店を期に関東へ。現在も関東エリア長として勤務。



心強い仲間と、現場での一枚。



目標達成を目指し邁進。

東海エリア

着工から竣工までマルチに活躍できる人材を育成。



東海エリアでは、「顧客満足度を追求する営業活動・リピート顧客数の増加」を今期の運営テーマに掲げました。お互いがフォローしやすい環境を整えて、一人ひとりが自身の技術を高めていくことで、お客様からの信頼をより強固にしていこうと考えています。

◆**東海エリア長/中林 慎二**(36歳)
11年前に入社し、2年間の勤務を経て名駅SC長に就任。その後、東海受注センターにて次長、受注センターでは部長を歴任。今年4月から東海エリア長に。



東海エリアの頼もしいメンバーたち。



エリア長としての仕事は多岐にわたる。

北海道・東北エリア

誠実な仕事を積み重ね、北海道ナンバーワン企業へ!



北海道・東北エリアの今期の運営テーマは、「何よりも安全第一を優先に作業をして、お客様と働くスタッフのため安心して働ける会社、安心して仕事を頼める会社」創りです。MMSの強みである「豊富な人材」を最大限に活かし、エリアナンバーワン企業を目指します。

◆**北海道・東北エリア長/吉田 匡志**(45歳)
現場社員として入社。東海・関西・九州・北海道と全国の新規エリア開拓に携わる。4月より取締役と北海道・東北エリア長を兼任する。



北海道・東北エリアの精鋭メンバーと。



デスクワーク中の一枚。

《役員就任のご挨拶》

取締役
吉田 匡志

MMSに入社して20年。培ってきた経験を活かし、会社の業績向上と働きやすい環境創りに努めていきます。今後も変わらぬご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

九州・中国エリア

エリア全体の一体感を強化。目標を共有し達成へ躍進。



30期の運営テーマは「現場社員・管理社員がスクラムを組み足並みを揃え一致団結!全員で目標を達成する!!」とし、関西以外のエリアで初の1日稼働100人達成を目指しています。エリア体制への変更は、我々が今後大きく成長し、飛躍するためのチャンスだと捉えています。

◆**九州・中国エリア長/城間 正史**(45歳)
11年前に入社し、2年間の勤務を経て受注センター長に就任。2年前九州・中国エリアへ転勤し、広島から沖縄までの営業活動に携わる。



福岡SCの仲間たちとの一枚。リラックスした表情で。



デスクワークも軽やかにこなしていく。

2023年4月17日(月)「京都テルサ」

Report

方針を徹底して「持続可能な成長」を! 2023年度『MMSグループ合同責任者会議』開催!

去る4月17日、MMSは全国の責任者が一堂に会し、『第30期合同責任者会議』を開催。各事業部をはじめ、新たな体制となった各エリア長からも今年度の目標が表明されました。



2023基本方針



“持続可能な成長”のための絶対条件は「お客様のありがとうの獲得」と「稼ぐ力の向上」。そのためには、主力事業の強化や事業領域の拡大、成長を支える基盤の強化、収益基盤の確立が不可欠です。

全国の各拠点から、総勢37名にも及ぶMMSの責任者たちが集結。各事業部・各エリアからの意欲にあふれる目標発表に、お互いが刺激を受けたようでした。

「基本方針」と 「MMSの理念」を胸に、 グループ一丸となって さらなる高みへ!

来たる35周年に向けて、30周年の今期は飛躍の一年。「安心して働ける会社、安心して仕事を頼める会社」をグループの理念として掲げ、企業価値を高めていくとともに、「お客様のありがとうの獲得」「稼ぐ力の向上」という基本方針を、メンバー全員がしっかりと実行していくことを確認しました。

さらに今年度は、エリア体制に組織変更し、お客様への対応もよりスムーズに行えるように。各エリアからは、エリア長の気持ちが込められた目標も表明され、グループのさらなる成長に向けてのビジョンを共有。そして参加した責任者たちの熱気も冷めやらぬ中、MMSホールディングス代表取締役・小林からの閉会の挨拶で締めくくられました。



①山田社長をはじめ、役員たちの表情も真剣。各事業部・エリアからの発表にしっかり耳を傾けます。

②今回は女性の責任者も参加。MMSでは大勢の女性が活躍しています。

③各事業部・エリアの責任者たちによる意欲的な発表が続きます。



第30期 安全スローガン発表!

会議では、MMSの頭文字をとった今年度の安全スローガン(下記)も発表しました。第30期は札幌SC・嶺岸大祐の案に決定。初心を忘れず『災害ゼロ・事故ゼロ』を目指し、安全第一の活動を誓いました。

【第30期安全スローガン】

M “まさか”が潜む

M 無理と油断

S 初心に戻って再確認

このページでは、MMSの“旬”の話題をご紹介します。

MMS topics [マグナム・トピックス]

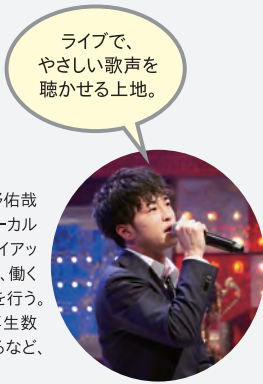
topics

MMSで働きながら、アーティストへの夢を追う「スキマジカン」上地賢人。

「StarTRat(スタートラット)」に続いて、天王寺SCでは2人組ボーカルユニット「スキマジカン」の上地賢人がMMSで活躍中です。



●スキマジカン
上地賢人(右)と中野佑哉(左)による2人組ボーカルユニット。『人生のタイアップを歌う』をテーマに、働く“隙間時間”に活動を行う。TikTok動画が総再生数1,000万回を超えるなど、人気上昇中!



ライブで、やさしい歌声を聴かせる上地。



大きな資材も軽々と。現場作業で培った体力は、歌手活動にも活かされる。

勤務時間や日数を調整できる働きやすい環境から、スポーツ選手や俳優、芸人などをしながら働くスタッフが多いMMS。今回ご紹介する「スキマジカン」の上地も、アーティスト活動とMMSでの仕事を両立。昨年には1stミニアルバム『タイアップ』をリリースするなど、着実に夢に向かって進んでいます。頑張るスタッフをみんなで応援しましょう!

ケンコー株式会社がMMSグループに!

2023年3月、ケンコー株式会社がMMSグループに加入しました。同社は、2008年に労働者派遣事業を主たる事業として設立され、様々な製造現場に携わってきた実績があります。

これにより、MMSグループとしても豊富な人材供給でお客様のニーズへの対応力がアップ。多種多様な職種に合わせた雇用の維持と拡大など、グループ内での相乗効果が期待できます。

相乗効果 ケンコー株式会社

グループへの加入

- お客様への対応力がUP!
- +
- スタッフのキャリアプランの幅がUP!
- +
- 職種に合わせた雇用の維持・拡大
- +
- 事業のすみ分けの明確化

MMSグループ

ケンコー株式会社
代表取締役 大橋 尚幸
京都市下京区高辻通堀川西入ル富永町685 MMS-1 1F
TEL:075-432-8834/FAX:075-432-8856

女性スタッフをご紹介します!

#8

今回ご紹介するのは、京都オフィスで入金管理を担当する小山優海。優しい笑顔が魅力の小山に、新体制へ移行後の変化などを聞きました!

小山 優海《こやま ゆうみ》
請求・入金管理部 2018年4月入社

- ① お仕事の内容と、やりがいを教えてください。**
A1. 得意先様からのお振り込みの確認対応などを行っています。正確さが求められるので、事前に予測・準備をして間違いを防げたときはやりがいを感じますね。今後も「迅速・丁寧」をモットーに仕事に取り組んでいきたいです!
- ② 新たな体制に変わったことで、どんな変化がありましたか?**
A2. オフィスが2階に移動したことで、サポートセンターに出入りする現場スタッフさんたちと対面で挨拶する機会が増え、より身近に感じることができて嬉しいです!
- ③ MMSの好きなおところは?**
A3. 和気あいあいとした雰囲気がとても良いと思います! 個性的な方が多い会社なので、皆さんとお話しするのが楽しいです。

これが私のモチベーション!
ゲーム実況動画を見ること(笑)。夫がゲームしているのを見るのも楽しい♪

お客様にメッセージ

いつも沢山のご依頼をくださり本当にありがとうございます。今後もお客様のお役に立てるよう、精一杯頑張ります☆多岐に寄せられた際はぜひ『めんきや』にもお越しください。

Food Service

「めんきや」夏の新メニュー『ニラもやし炒め』登場!

暑い夏はビール! ということで、ニラ&もやしの組み合わせメニューが新登場。ごま油で手早く炒めた野菜はシャキシャキ。塩としょう油で味付けした、あっさりシンプルかつ奥深い味わいで、マグナムファームの白ごはんにもよく合います。

また、めんきやは営業時間を変更し、より多くのお客様に、めんきやの味を楽しんでいただけるようになりました。お昼休みや仕事終わりに、気軽にお立ち寄りください!



鈴木店長



ニラもやし炒め430円。薄切りのチャーシューが、味・食感のアクセントに。生ビール(中)500円との組み合わせは鉄板です。



めんきや
京都壬生本店
京都市中京区壬生相合町32-1
☎075-888-0022
11:00~翌2:00



report

田植え機で苗を植えています。5月とはいえ、社員たちは汗だくで奮闘。

『マグナムファーム』4期目豊作を目指して始動!

マグナムファームでは、今年も春から京丹波町で『一飯の恩』の田植えをスタート。昨年の11反から12反へ耕作面積を増やし、収穫量アップに挑みます。

マグナムファーム育ちのお米は、「めんきや」で食べられるほか、京都駅構内の一部の駅弁にも採用。ぜひご賞味ください!



畔切り

田んぼの防水力を高める畔切り。

代掻き

土と水をなじませる代掻き。秋の豊作を目指して、作業は続きます。

編集後記

▶当期は、一昨年に発表した中期経営計画の最終年度です。その達成はもちろんのこと、次の35期に向けて、エリア体制への転換による生産性向上や、様々なシナジーが見込めるグループ企業の拡充を実施しています。今回ご紹介したエリア長をはじめ、引き続きのご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。(常務取締役・大橋尚幸)

株式会社マグナムメイドサービス
http://www.magnum-maid.com

